

Pioneer sound.vision.soul

タッチパネルタイプ



MDLP

Mini
Disc

はじめに

準備

ナビゲーション

CD / MP3 / MD

ミュージックサーバー

音声操作

付録

Start Book

6.5 型ワイドTV/MD/CD・HDD・DSP AVナビサーバー
AVIC-ZH77MD

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[使用方法]



禁止

運転中に操作をしない

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。



禁止

走行中にテレビやビデオを見ない

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。



分解禁止

分解や改造はしない

本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

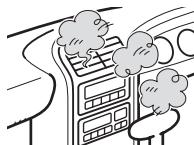
[異常時の処置]



禁止

故障のまま使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用になると事故・火災・感電の原因となります。



禁止

異常のまま使用しない

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



必ず行う

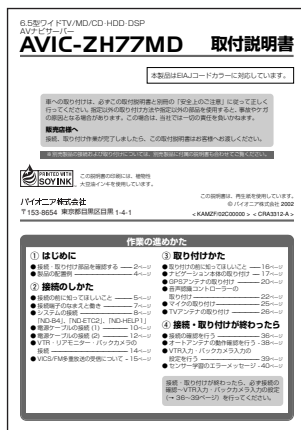
ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

説明書のご利用方法

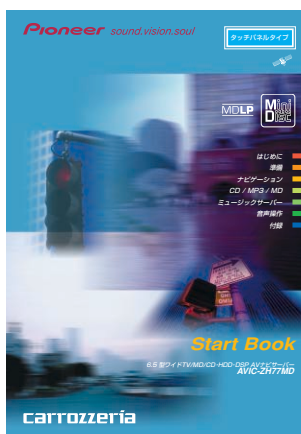
取付説明書

取り付けや接続を行うときにお読みください。機器構成の説明や他の機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



スタートブック (本書)

本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーションやオーディオの基本的な使いかたを説明しています。



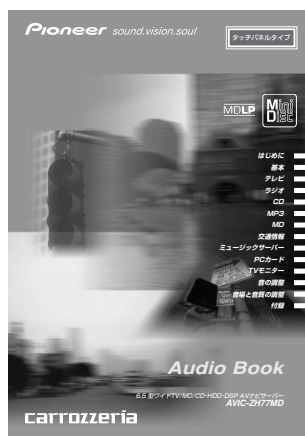
ナビゲーションブック

ナビゲーションの機能を活用したいときにお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。



オーディオブック

オーディオ (CD/MP3ディスク/MD/ミュージックサーバー/FM/AM) やTV、VTRを活用したいときにお読みください。オーディオやTVの全機能の使いかたを知ることができます。オーディオやTVの操作辞典としてご利用ください。



大見出し

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を表示させる

「現在地」を押すと、自分の車の現在地周辺の地図を表示します。
現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

■現在地画面

現在の時刻

ノーマルビュー



自車マーク
車の位置と進行方向
を表します。

縮尺表示

下の「」が縮尺の距離を示します。
(2D表示のみ)

方位表示
赤い三角が北方向を示します。

VICSの情報
提供時刻


現在地の地名
自車位置周辺の地名を示します。

軌跡表示

① 安全のため、走行中は細街路（灰色の細い道）は表示しない仕様となっています（細街路を走行中を除きます）。

中見出し

音声認識コントローラや本体上のボタン
音声認識コントローラや本体などについているボタンを表します。
本文では「**メニュー**」を押す」というように表記しています。

続きマーク 

右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

23

ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、知りたい情報を探しやすいように構成されています。

■情報の探しかた

大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。

目次

はじめに	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
	説明書のご利用方法	4
	本書の見かた	6
	はじめに	10
	特長	10
ご使用前に知っておいていただきたいこと	13	
準備	お使いになる前の準備	16
	各部の名前とおもな働きを知る	16
	タッチスイッチでの操作のしかた	19
	音声認識コントローラ／マイクを使う前に	20
	電源の入れかた、切りかた	21
	オートアンテナの操作について	21
3Dハイブリッドセンサーについて	22	
ナビゲーション	地図の見かたや操作を覚えよう	23
	現在地を表示させる	23
	地図の動かしかた	24
	地図の縮小、拡大	26
	地図の表示方法を変えてみよう	27
	メニュー操作の基本を覚えよう	30
	自宅を登録しておこう	33
	自宅にいるときは	33
	自宅以外の場所にいるときは	34
	行き先を決めてルートを案内させてみよう	35
スタートからゴールまでの流れを理解しよう	35	
行き先を設定してルートを案内させる	36	
自宅に帰るルートを設定して案内させる	39	

CD/MP3ディスク/MDの基本操作を覚えよう	40
CD/MP3ディスク/MDの再生のしかた	40

ミュージックサーバーを理解しよう	43
ミュージックサーバーについて	43
ミュージックサーバーへの録音	44
録音した曲のタイトルを取得する	45
ミュージックサーバーの再生のしかた	45

音声操作を覚えよう	47
音声操作の基本	47
発声の特徴を学習させる	48
音声でナビゲーションを操作する	50
ハンズフリーで電話する	51

付録	53
PCカードの入れかた、取り出しかた	53
リセットのしかた	55
再生できるディスクの種類	56
MP3ファイルについて	57
CDの正しい使いかた	59
MDの正しい使いかた	60

エラーメッセージ	62
-----------------	-----------

お客様登録とアフターサービス	64
-----------------------	-----------

仕様	66
-----------	-----------

はじめに

特長

■ **高速化と高精度により、ナビゲーションの基本機能が大きく進化しました。**

ハードディスクの搭載により、これまでにない高速処理を実現しました

ナビゲーション用の情報記録メディアとして、ハードディスクを採用しました。これにより、圧倒的な高速処理が可能になりました。

測位精度専用のチップを搭載、高精度なナビゲーションを実現します

自車位置を正確に測定できる測位精度専用チップを搭載することにより、高精度な測位が実現します。

3Dハイブリッドセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリッドセンサーで、坂道の登り降り（地面の傾斜）を感知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路なども正確に判断でき、測位に反映します。

D-GPSやマップマッチング機能で、さらに精度を高めています

GPS衛星からの情報に含まれる誤差を修正するD-GPS（ディファレンシャルGPS）や、マップマッチング機能を備えているので、さらに精度の高い測位が可能です。

VICS（道路交通情報通信システム）の情報を利用できます

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。さらに別売のVICS用ビーコン受信機でビーコンによるVICS情報を受信することができます。

10mスケールまで地図を詳細に表示できます

10mスケールまでの詳細な地図を表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。

音声操作がさらに快適になりました

音声認識のスピードアップと音声認識話者学習による認識率の向上により、快適な音声操作ができるようになりました。

よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

ドライバーズビューやスカイシティマップ、シティハイウェイマップで、よりドライバーの走行感覚に近いリアルな表示ができます。

よく使う道を学習。ルート探索に反映します

ナビゲーションが通った道を学習します。よく使う道をルート探索の際、優先的に利用させることができます。またルート案内中に、過去に通った道を見つけ選択することもできます。

細い道の探索も行って、ドアtoドア探索ができます

住宅地などの細い道路までも検索することができるため、まさに自宅から目的地までのドアtoドア探索ができます。

また、このときに設定されたルート上の細い道路はピンク色で表示されるため、細い道路であることを簡単に判別できます。

Webブラウザで取得した場所を目的地とすることができます

Webブラウザで取得した場所を検索し、目的地とすることができます。

地図画面に表示されるロゴマークを編集することができます

地図画面に表示されるロゴマークの編集ができます。元の地図データにない新しい店ができた場合や地図データにある店がなくなった場合などに使用します。

PCカードを使って、機能の拡張やデータの保存・交換ができます

PCカードを使うことで、MP3ファイルを再生したりデジタルカメラで撮った映像を地図に貼り付けたりすることができます。また登録地などを保存すれば、友人のHDDナビゲーションサーバーでもそのデータを利用することができます。

■ナビゲーションと情報通信の融合 携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話が可能になります

携帯電話を接続すると、音声認識コントローラーとマイクを使用して、運転中でもハンドルを握ったまま通話することができます。

検索で見つかった施設名から、直接インターネットにアクセスできます

携帯電話を接続してインターネットを利用できるようにすると、ナビゲーションの検索で見つかった施設名から、メニュー操作ひとつでその施設に関連する情報を見ることができます。

車の中でメールのやり取りができます

インターネットを利用すると、メールの送信や受信を画面上で行うことができます。

車の中で気象情報を見ることができます

インターネットを利用すると、日本全国の気象情報を取り込んで、画面上で確認することができます。目的地付近の気象情報をチェックしておけば、充実したドライブプランを立てられます。

■ナビゲーションとオーディオの融合

ナビゲーション本体でCDやMD、MP3ディスクを再生できます

ナビゲーション本体で、CDやMD、MP3ディスクを再生して音楽を楽しむことができます。

ナビゲーション本体で音声の録音や再生ができます

(ミュージックサーバー)

ナビゲーション本体で、CDやMD、ラジオ、TVなどの音声を録音し、再生することができます。自分の好きな曲だけ集めたり編集することもできます。また、PCカード内のMP3ファイルを再生することもできます。

CDの曲名などの情報を簡単に取得することができます

CDやミュージックサーバーに録音した曲のアーティスト名や曲名などの情報を、内蔵またはインターネットのデータベースから簡単に取得して表示することができます。ミュージックサーバーに録音した曲を、これらの情報から簡単に探し出して聴くことができます。

■ナビゲーションとスケジュール管理の融合

ナビゲーション本体でスケジュール管理ができます

指定した日時にルート探索や音楽の再生、メッセージ表示をすることはもちろん、車検の期限やオイル交換の時期も知らせてくれます。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

■ お使いになる地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは全て本機内蔵のハードディスクに保存されています。

従来のCD-ROMディスク（「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など）は使用できません。

■ 現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自転車位置が大きくずれることがあります。これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自転車位置と現在地の誤差を補正する機能をそなえています。この働きによって、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

■ 3Dハイブリッドセンサーについて

初めて本機を使う場合、電源を入れると自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を開始します。

3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、自転車位置がずれたり止まったりすることがあります。

初期学習が終了すると高精度で自転車位置を測位することが可能となります。

■ 安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。
- 本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更等により、実際とは異なる場合があります。運転に際しては必ず実際の交通標識や案内掲示板等に従ってください。
- 本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションメニュー操作やインターネットブラウザの操作、地図の連続スクロール、フリーズームなどはできません。またオーディオ操作も一部できません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■ 昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎで表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。

例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面・夜画面の切り替えを車のライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

■ バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

■ 車外の音が十分に聞こえる音量に設定する

車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。

■ 画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。

初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。



『オーディオブック』、「画質の調整をする」を参照してください。

■ 携帯電話をお使いになるときは

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをディスプレイ部に近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■ ディスプレイ部の液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、ディスプレイ部に直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

■低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、地点の登録（登録地）や登録道の新規登録、ミュージックサーバーへの録音などのハードディスクへの書き込み動作ができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

■著作権

●本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

■バージョンアップについて

- 本機のバージョンアップは内蔵のハードディスクの書換えで可能となります。（バージョンアップは有償です。）
 - バージョンアップ書換え作業中※は、ナビゲーション、MP3ディスク、ミュージックサーバーは使用できません。
 - バージョンアップの詳細については、購入後に登録手続きをした方にご案内する予定です。必ず同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録をお願いします。
- ※書換え作業は10日間程度を予定しておりますが、一時的に書換え数量が集中した場合などは、10日を越える場合があります。

■お客様の登録されたデータについて

- バージョンアップ時および修理時においてお客様の登録されたデータの保証についてはご容赦願います。
- 別売のPCカードを利用すると、登録地点データ、登録道データ、ドライブスケジューラーデータ、車両メンテナンスデータを保存することができます。
- ミュージックサーバーに録音された音楽情報については著作権法上バックアップをおこなうことはできませんのでご了承ください。

■その他

- 弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 弊社からの連絡があった場合を除き、本製品のハードディスクを取り外さないでください。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

お使いになる前の準備

各部の名前とおもな働きを知る

■ナビゲーション本体

閉じている状態



開いている状態



① OPEN/CLOSEボタン

ディスプレイ部を開いたり、閉じたりするときに押します。

② SRC・NAVI/AVボタン

SRCボタンはソース(音源・映像)を切り替えたり、長く押すとソースをOFFにします。

NAVI/AVボタンはナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。

③ 画質ボタン

[画質調整]画面を表示させます。長く押すとオートアンテナをON/OFFします。

④ ANGLEボタン

車外からの光などで画面が見えにくいときに、画面の角度を調整できます。押しごとに1段階ずつ角度が傾き、押し続けると連続して傾きます。

⑤ HDD RECボタン

再生中の音声を録音します。

⑥ TIボタン

主要道路に設置してある交通情報を受信するときに押します。

⑦ ▲/▼/◀/▶ ボタン

曲の早送りや巻き戻し、FM/AM、TVのチャンネルを変えるときなどに使用します。



⑧ 行き先ボタン

ナビゲーション画面で目的地を表示するときなどに押します。

⑨ メニューボタン

ナビゲーション画面で設定を行うときに押します。

⑩ VOLUMEボタン

	音量を大きくするとき
	音量を小さくするとき

⑪ 現在地ボタン

ナビゲーション画面で現在地を表示させるときなどに押します。

⑫ MD取り出しボタン

MDを取り出すときに押します。


⑬ PCカード取り出しボタン

PCカードを取り出すときに押します。

⑭ CD取り出しボタン

CDを取り出すときに押します。

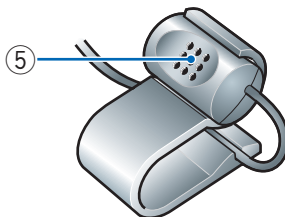
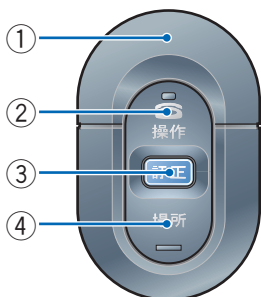
⑮ ハードディスクカバー

 ハードディスクカバーを開けないでください。故障の原因となることがあります。

ハードディスクカバーを開けたことによるトラブルについては、保証いたしかねます。

• ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対に開け閉めしないでください。

■音声認識コントローラー/マイク



① 送信部

ここから音声認識コントローラーの信号が送られます。

② 操作ボタン **操作**

(→47～52ページ)

- ・ ナビゲーションを音声で操作したいときに押します。
- ・ 携帯電話を接続している場合、このボタンで電話をかけたり、かかってきた電話を受けられます。通話が終わったときに押すと電話が切れます。

③ 訂正ボタン **訂正**

(→50～52ページ)

- ・ 音声での操作中に、直前の操作を取り消すときに押します。
- ・ 携帯電話を接続している場合、このボタンを押すと、かかってきた電話を応答保留することができます。

④ 場所ボタン **場所**

(→47、50～52ページ)

音声入力で場所を探したいときに押します。

⑤ マイク

操作、**場所** ボタンを押したあと、このマイクを通してナビゲーションを操作します。電話を利用する場合も、このマイクを使って通話します。

タッチスイッチでの操作のしかた

本機では16～17ページで説明したボタンと共に、画面上に表示されるタッチスイッチに軽く触れることにより操作を行います。



i 画面は傷つきやすいので必ず指で触れて操作してください。

■タッチスイッチの再表示のしかた

テレビやVTR映像のときに数秒間何も操作しないと、タッチスイッチは自動的に画面上から消えます。

再表示するときは、画面にタッチします。

■画面が見にくいときに角度を調節する

画面の角度を7段階に調整できます。車外からの光が画面に反射しているときなどは、見やすくなるように調整してください。

ANGLEを押す

ディスプレイ部が斜め上方に1段階傾きます。ボタンを押すごとに1段階ずつ傾いていきます。

ANGLEを押し続けると連続して傾いていき、離れたところで止まります。(7段階目になると自動的に止まります。

傾きが7段階目のときにボタンを押すと、ディスプレイ部がもとの状態に戻ります。

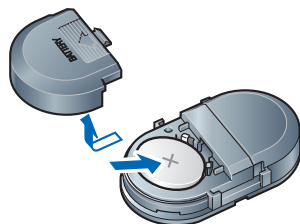


- i** ディスプレイの角度を調節するときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対に角度の調節をしないでください。
- 本機は、エンジンを切る(ACCをOFFにする)とディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには十分にご注意ください。
- i** ディスプレイ部を傾けた状態でも、**OPEN**を押すとディスプレイ部が開きます。ディスプレイ部を閉じると、傾いた状態に戻ります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

音声認識コントローラ／マイクを使う前に

■ 電池の入れかた



裏ぶたをはずして、リチウム電池 (CR2032) を (+) 側を上にして入れます。



- ⚠ • 音声認識コントローラを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。
- ℹ • 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- 音声認識コントローラからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

電源の入れかた、切りかた

本機の電源は、車のエンジンをかけると自動的に入り、エンジンを切ると電源も切れます。

-  本機をお使いなるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。
 -  地図データは本機内蔵のハードディスクに収納されているため、ディスクを入れることなくナビゲーションをご使用できます。
 - 3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまで、[ナビゲーションを起動します。よろしければ確認にタッチしてください。店頭展示モードで起動する場合には、店頭展示ボタンに2秒以上タッチしつづけてください。【注意】店頭展示モードでは、ルート設定をすると自動的にデモ走行が始まります。]とメッセージが表示されますので **確認** にタッチしてください。
- 「3Dハイブリッドセンサーについて」(22P)


オートアンテナの操作について

本機をオートアンテナ車に取り付けた場合は、本機の電源ONに連動してオートアンテナが上がる場合があります。屋内ではご注意ください。オートアンテナは、本機の操作で上げ下げすることができます。

■ オートアンテナを上げる・下げる

1 ボタンを長く押し続ける

ボタンを長く押しすごとにオートアンテナがON（上げる）とOFF（下げる）が切り替わります。

-  オートアンテナ車以外では常にONに設定しておいてください。OFFに設定するとAM/FMラジオやVICS/FM多重放送の受信ができなくなる場合があります。

3Dハイブリッドセンサーについて

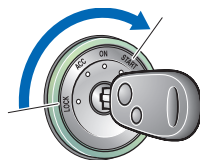
初めてお使いになる場合は、高精度に自車位置を測位するために、本機の電源を入れた（エンジンをONにした）後に本機内蔵の3Dハイブリッドセンサーの初期学習を自動的に開始します。

- ➡ 3Dハイブリッドセンサーについては、『ナビゲーションブック』、「ナビゲーションのしきみ」を参照してください。
 - 次の場合は、メニューからセンサー学習をクリアしてください。
 - 本機の設置場所を変更した
 - タイヤを変更した
 - 未使用のセンサーメモリーに切り替えた
- 『ナビゲーションブック』、「メモリークリア作業の流れ」

■初期学習を開始させる

1 本機を取り付け後、初めてエンジンをかける

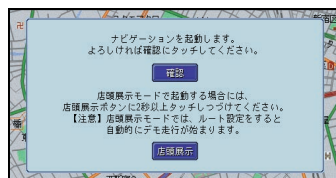
本機の電源が入り、[ナビゲーションを起動します。よろしければ確認にタッチしてください。店頭展示モードで起動する場合には、店頭展示ボタンに2秒以上タッチしつづけてください。【注意】店頭展示モードでは、ルート設定をすると自動的にデモ走行が始まります。]とメッセージが表示されます。



2 確認にタッチする

自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を開始します。

3Dハイブリッドセンサーの初期学習には、しばらく時間がかかります。それまでの間はGPS衛星のみの測位となるため、自車位置がずれたり止まったりすることがありますが、故障ではありません。初期学習が終了すると高精度で自車位置を測位することが可能となります。



- ➡ 手順2で **確認** にタッチせずにナビゲーションを使用すると、一部の動作が正常に動きません。
- 手順2で **確認** にタッチせずにオーディオメニューを操作すると、一部のメニュー画面が表示されないことがあります。
- ➡ エラーメッセージが表示されたときは、「エラーメッセージ」(62P)を参照してください。

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を表示させる

現在地を押すと、自分の車の現在地周辺の地図を表示します。
現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

■現在地画面

現在の時刻


ノーマルビュー



自転車マーク

車の位置と進行方向
を表します。

縮尺表示

下の  が縮尺の距離を示します。
(2D表示のみ)

方位表示


赤い三角が北方向を
示します。

VICISの情報
提供時刻

現在地の地名

自転車位置周辺の地名を示します。

軌跡表示

 安全のため、走行中は細街路（灰色の細い道）は表示しない仕様となっています（細街路を走行中を除きます）。

地図の動かしかた

地図を動かすには、地図上の見たい場所をタッチして地図をスクロールします。

1 画面にタッチする

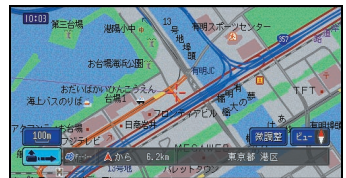
カーソルが表示されます。



2 地図上の見たい場所にタッチする

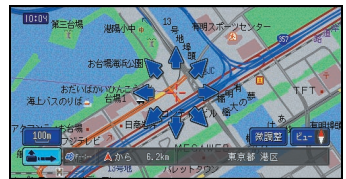
タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

タッチし続けると、その方向にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が早くなります。



3 微調整にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。



4 表示を微調整する

矢印にタッチすると地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の場所をタッチしても地図が動きます。



- ① スクロール終了後は、走行画面になると8方向矢印が消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。

■スクロール画面

スクロール中



スクロール方面表示

地図の縮尺を、10m～1kmスケールにしている場合に表示されます。

スクロール停止



現在地の方向
十字カーソル
位置と現在地
を結んだ線。

現在地から十字
カーソル位
置までの直線
距離

十字カーソル

画面の中心に表示
されます。

十字カーソル 位置の地名

十字カーソル位置
周辺の地名を示し
ます。

地図の縮小、拡大

地図の縮小、拡大は、10m～500kmまでのスケール表示の範囲で変更することができます。

広域 にタッチすると、より広い範囲が表示されます。

詳細 にタッチすると、より詳しい地図が表示されます。

 『ナビゲーションブック』、「地図の縮尺を変える」を参照してください。


1 縮尺表示にタッチする

10m～1kmの縮尺のボタンが表示されます。



2 詳細や広域にタッチする

ボタンにタッチするたびに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmのスケール表示ごとに縮尺が変わります。

 ボタンをタッチし続けると、タッチしている間、縮尺表示は同じでも細かく縮尺が変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

詳細 に
タッチする



広域 に
タッチする



スケールバー

現在のスケールを表示します。

地図の表示方法を変えてみよう

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

地図の表示方法は、5種類あります。

ノーマルビュー (2D表示)	通常の地図 (平面の地図) で表示されます。
スカイビュー (3D表示)	上空から見ているような地図を表示します。
ドライバーズビュー (3D表示)	ドライバーの目線から見たような地図を表示します。 都市高速走行中はシティハイウェイマップになります。
ツインビュー (2画面表示)	画面を左右2つに分割し、左画面はスカイビュー、右画面はノーマルビューで表示します。
ハイウェイモード	高速道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

 各種類の詳細な情報は、『ナビゲーションブック』、「地図画面の表示方法を変える」を参照してください。

1 方位表示マークにタッチする


ビュー切り替えメニューが表示されます。



方位表示マーク

2 表示方法を選んでタッチする

選んだ表示方法で地図が表示されます。

-  ドライバーズビューを選んでいるとき、都市高速では自動的にシティハイウェイマップになります。
- ハイウェイモードは、高速道路以外では選ぶことができません。



■表示方法の種類

ノーマルビュー（2D表示）

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



縮尺が10m~50mスケールでは、地域によって詳細な市街地図（シティマップ）が表示されます。



スカイビュー（3D表示）

上空から見ているような地図を表示します。



縮尺が10m~50mスケールでは、地域によって立体的な市街地図（スカイシティマップ）が表示されます。



ドライバーズビュー (3D表示)

ドライバーの目線から見たような地図を表示します。

信号やお店など、目印となる建物などが立体的に表示されます（一部表示されない場所もあります）。また、画面中にはノーマルビューの地図も表示されます（ウィンドウマップ）。



都市高速走行中は、走行に役立つ高速道路の情報が表示されます（シティハイウェイマップ）。



ツインビュー (2画面表示)

画面を左右2つに分割表示し、広域地図を表示させながら自車位置周辺の詳細地図を表示させたい場合などに便利です。

右画面ではノーマルビューで自車位置を表示します。左画面では、スクロール、回転、角度の変更などができます。



ハイウェイモード

高速道路走行時の専用画面です。

前方の高速道路施設までの距離や高速料金、高速の分岐方向などが表示されます。また、右側にはサイドマップとして地図が表示されます。



メニュー操作の基本を覚えよう

本機の基本的な操作は、メニューから項目を選んで行います。

■スタートメニューを表示させる

ナビゲーションを利用する場合は、メニューを表示させます。

スタートメニューには、[行き先・場所] のメニューと、[情報・通信]、[編集・設定] のメニューがあります。

スタートメニューの表示操作は、それぞれ以下の通りです。

- ① 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- ② 各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』、「スタートメニュー」を参照してください。

[行き先・場所] メニューの表示

行き先を設定してルート案内を始めたり、場所を探して詳細情報の表示や登録などを行うことができます。

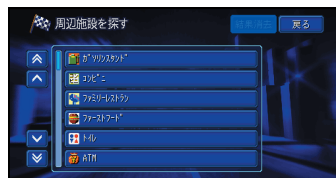
1 [行き先] を押す

[行き先・場所] メニューが表示されます。



2 項目を選んでタッチする

選んだ項目を実行する画面が表示されます。



- ① [戻る] にタッチすると、前の画面に戻ります。

【情報・通信】メニューの表示

ドライブに役立つ各種情報の表示や、携帯電話やインターネットなどを使用することができます。

1 **メニュー** を押す

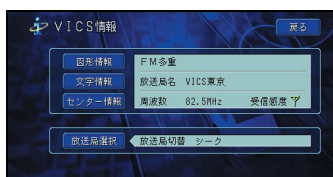
【情報・通信】メニューが表示されます。



2 項目を選んでタッチする

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

i **戻る** にタッチすると、前の画面に戻ります。



【編集・設定】メニューの表示

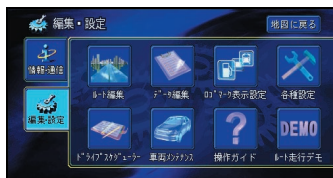
編集や各種設定を行うことができます。

1 **メニュー** を押す

【編集・通信】メニューが表示されます。

2 **編集・設定** にタッチする

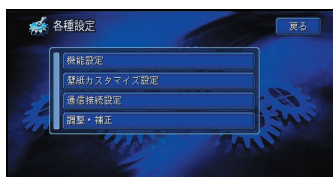
【編集・設定】メニューが表示されます。



3 項目を選んでタッチする

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

i **戻る** にタッチすると、前の画面に戻ります。



■ ショートカットメニューを表示させる


十字カーソル位置または現在地に対して、ルート探索や場所の登録など、利用頻度の高い機能が割り当てられており、その操作をすばやく行うことができます。

通常のメニューからの操作ステップをいくつか省略して、すばやく簡単に操作できます。

1 にタッチする

ショートカットメニューが表示されます。



- ① ショートカットメニューは現在地またスクロールなど表示させた状態により、表示されない項目や選択できない項目があります。
- ②  にタッチすると、ショートカットメニューを閉じます。

自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなど、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

自宅にいるときは

i 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

1 **行き先** を押す

[行き先・場所] メニューが表示されます。



2 **自宅** にタッチする

自宅登録確認画面が表示されます。



3 **はい** にタッチする

自宅が登録されます。

↔ 自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』、「登録地の位置を変更する」を参照してください。



行き先を決めてルート案内させてみよう

スタートからゴールまでの流れを理解しよう

1 行き先を探しましょう

- こんなことができます
- ・地図から探す
 - ・行き先・場所メニューから探す
 - ・クイックルート探索

2 行き先までのルートを設定しましょう

こんなことができます

- ・回避エリアを考慮したルート探索
- ・渋滞を考慮したルート探索 (別売のVICSビーコン受信機が必要です)
- ・立寄地の追加
- ・乗り降りICの指定
- ・登録道の指定
- ・出発地の指定
- ・ルートプロフィール
- ・ルートスクロール

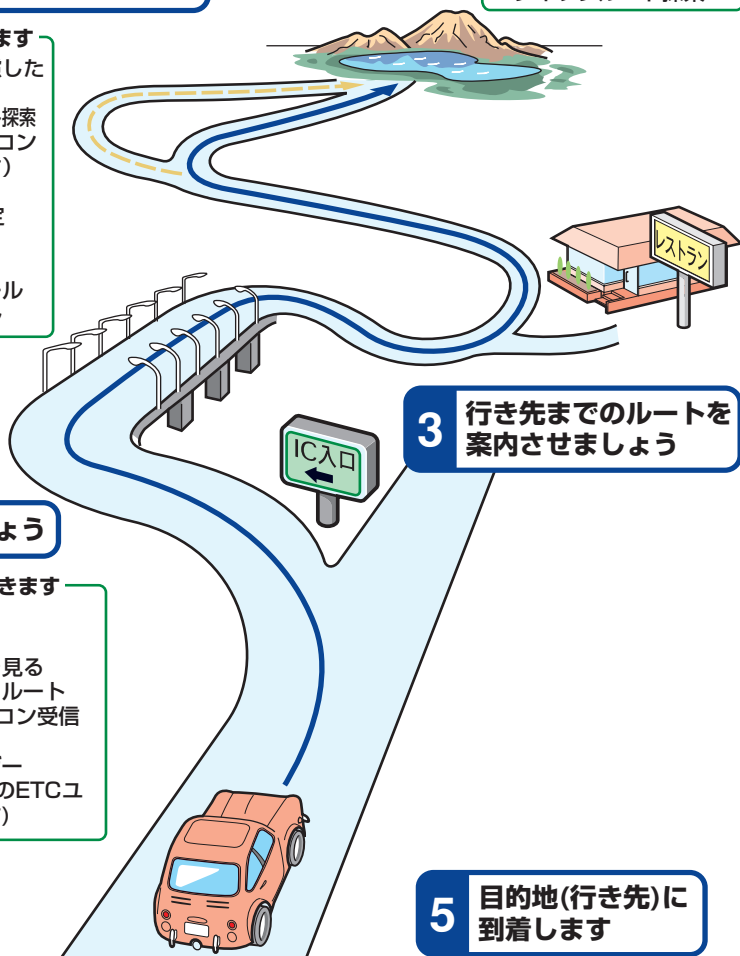
3 行き先までのルート案内させましょう

4 出発しましょう

こんなことができます

- ・再探索
- ・VICS情報を見る
- ・気象や季節情報を見る
- ・渋滞考慮オートリルート (別売のVICSビーコン受信機が必要です)
- ・ルートアドバイザー
- ・ETCの利用 (別売のETCユニットが必要です)

5 目的地(行き先)に到着します



行き先を設定してルート案内させる

行き先を地図上から探して簡単にルートを設定させることができます。ルート探索終了後は、行き先までのルートが表示されますので、ルート上を走行すると自動的に案内が始まります。

- ④ わかっている情報を手がかりに、メニューから行き先を探すこともできます。
→ 『ナビゲーションブック』、「場所を探す」

1 地図をスクロールさせて、場所を探す

画面上の十字カーソルを、探している場所に合わせます。



2 ④ にタッチする

ショートカットメニューが表示されます。



3 目的地 にタッチする

行き先に旗カーソルが付き、自動的に現在地から行き先までのルート探索が始まります。

- ④ 十字カーソルが有料道路付近にある場合、目的地が有料道路上にあるかどうか確認する画面が表示されることがあります。

→ 『ナビゲーションブック』、「行き先までのルートを探させる」



4 案内開始 にタッチする


行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)

- ④ **ルート確認** **他のルート** **詳細ルート** の操作については、『ナビゲーションブック』、「ルートを確認する」、「他のルートを選ぶ」、「ルートの詳細に設定する」を参照してください。



5 出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

-  • 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

6 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します

■ルート案内中の画面

目的地まで誘導させるルートが設定されている場合に表示されます。

ルート

設定したルートは、一般道路は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。

目的地の方向

現在地と目的地を結んだ線。



目的地までの道のり距離と到着予想時刻

現在地画面

交差点から離れると現在地画面に戻ります。

交差点に近づくとき交差点案内画面に変わります。

交差点案内画面

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。

・ドライバーズビュー

次の案内地点の名称と、そこまでの距離、進行方向



ランドマーク

信号や目印になるお店などが表示されます。

ウィンドウマップ

ノーマルビューの地図が表示されます。



ルートインフォメーションにタッチすると案内地点の拡大図を表示することができます。
→『ナビゲーションブック』、「ルート案内の開始」

自宅に帰るルートを設定して案内させる

自宅が登録されている場合は、ワンタッチ操作で自宅へ帰るルートを探索させることができます。ルート探索終了後は、自宅までのルートが表示されますので、ルート上を走行すると自動的に案内が始まります。

1 地図画面が表示されている状態で「行き先」を押す



2 「自宅」にタッチする

自宅まで戻る最も効率のよいルートを、自動的に1本だけ探索します。

i 案内中のルートがあるときは、手順2のあとに「はい」にタッチします。

→ 最も効率のよいルートは、登録地の探索条件、ルート探索時の条件によって異なります。
→『ナビゲーションブック』、「登録地の探索条件を変更する」、「機能設定」



3 出発する

実際の道路標識に従って走行してください。
設定ルート上を走行すると、音声案内が流れ、ルート案内が始まります。

4 自宅付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します

CD/MP3ディスク/MDの基本操作を覚えよう

本機はオーディオ機能を標準装備しており、CD/MP3ディスクやMDをお楽しみいただけます。

CD/MP3ディスク/MDの再生のしかた

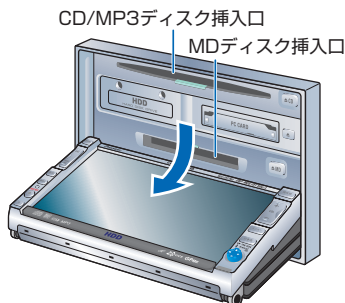
本機では、CDやMP3ファイルが収録されたCD-ROM/R/RWやMDなどをお楽しみいただくことができます。

- 再生できるディスクの種類は、「再生できるディスクの種類」(56P)を参照してください。
- 再生できるMP3ファイルについては、『オーディオブック』、「再生できるMP3ファイルについて」を参照してください。
- 各機能の操作方法は『オーディオブック』、「CDを聞く」、「MP3ディスクを聞く」、「MDを聞く」を参照してください。
- 本機ではPCカードに記録されたMP3ファイルを再生することもできます。再生する方法は「ミュージックサーバーの再生のしかた」(45P)を参照してください。

1 OPENを押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

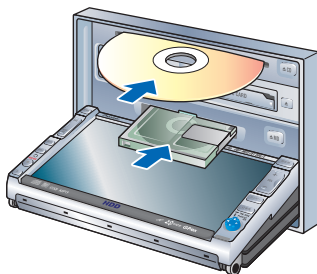
- ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対に開け閉めしないでください。



2 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてディスクを差し込む

自動的に再生が始まります。

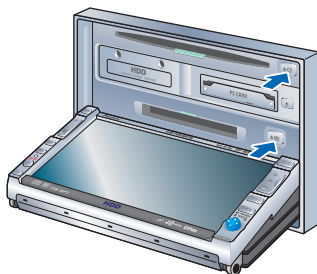
- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードはオートです。再生したCDは、自動的にミュージックサーバーに録音されます。
- CDなどからデジタル録音したもの(CD-Rなど)から、さらにミュージックサーバーにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)により定められています。
- CDシングル(8cmCD)もアダプターなしで挿入できます。アダプターは絶対に使用しないでください。



- 3** ディスクが奥まで挿入されたことを確認してから、もう一度 **OPEN** を押す
ディスプレイ部が閉じます。

- 4** ディスクの状態を表示するときは、**NAVI/AV** を押す
映像が切り替わります。

- i** CDを挿入すると、内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できた場合は、タイトル名が表示されます。タイトル情報が取得できなかった場合は、[No Title] と表示されます。



- 5** ディスクを取り出したい場合は、**OPEN** を押す
ディスプレイ部が開きます。

- 6** **▲CD** または **▲MD** を押す
再生を止めて、ディスクが自動的に押し出されます。

- i** 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。
- ディスクをセットしたまま他のソースに切り換えることもできます。ただし、ディスプレイが開いている状態ではソースの切り換えができません。
 - ディスプレイが完全に開いた状態で押ししてください。

- 7** **OPEN** を押す
ディスプレイ部が閉じます。

- !** ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対に開け閉めしないでください。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったりして、思わぬけがをするおそれがあります。
 - ディスプレイ部が完全にオープン/クローズしないうちに、操作しないでください。操作した場合 (CDなどを挿入、取り出しボタンを押す) 安全のためディスプレイ部がその角度で停止します。
 - ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
 - ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
 - ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておく故障するおそれがあります。
 - 熱やホコリからディスプレイを保護するため、ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- i** ディスプレイ部が完全に開いた状態で車のエンジンスイッチをOFFにすると、「ディスプレイ部が開いています。表示部保護のため、お閉めください」と音声メッセージが流れます。ACCをONにし、**OPEN** を押してディスプレイ部を閉じてください。

■CD/MP3状態表示画面の見かた

(CDを入れたときの例)

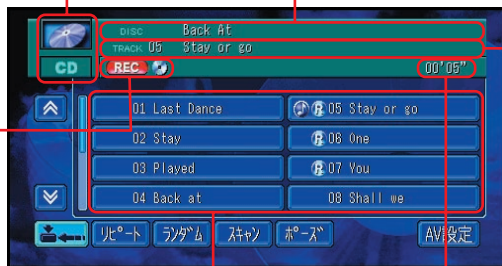
ソース表示

MP3が記録されたCD-ROM/R/RW
の場合はMP3と表示されます。

ディスクタイトル表示

録音中表示

ミュージック
サーバーへの録
音状態を表示し
ます。(CDの
場合のみ)



トラックタイトル 表示

トラックNo.とト
ラックタイトルを表
示します。

トラックリスト表示

経過時間表示

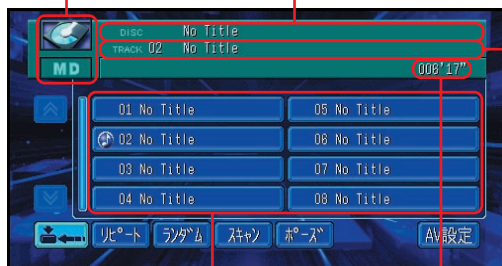
再生中のトラックの経過時間を
表示します。

- ① ディスクタイトルとトラックタイトルは、全角16文字（半角32文字）まで、トラックリストは全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

■MD状態表示画面の見かた

ソース表示

ディスクタイトル表示



トラックタイトル 表示

トラックNo.とト
ラックタイトルを表
示します。

トラックリスト表示

経過時間表示

再生中のトラックの経過時間を
表示します。

- ① ディスクタイトルとトラックタイトルは、全角16文字（半角32文字）まで、トラックリストは全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

ミュージックサーバーを理解しよう

ミュージックサーバーについて

ミュージックサーバーには100枚程度*のCDを録音することができます。お気に入りのCDを録音しておけばCDを交換する手間なしに長時間の連続再生が可能になります。また、PCカード内のMP3ファイルをミュージックサーバーのプレイリストの一つとして再生することもできます。

ミュージックサーバーでは、以下のことができます。

録音	CDなどの音源を録音することができます。
再生	録音された音声を、いろいろな方法で再生することができます。
編集	録音された音声に対して、曲名などの情報を登録したり、再生するグループ単位であるプレイリストの編集ができます。
検索	録音された音声をいろいろな方法で検索して、プレイリストを作成することができます。
情報表示	録音された音声の登録情報や、録音日、再生時間などの詳細情報を表示させることができます。

- ① 本機は、内蔵またはインターネットのデータベースを使って、CDから録音した曲にタイトルやアーティスト名などの情報を、自動的に付与します。
- CDなどからデジタル録音したもの（CD-Rなど）から、さらにミュージックサーバーにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）により定められています。

② 各機能の操作方法などは『オーディオブック』、「ミュージックサーバーを利用する」を参照してください。

※ミュージックサーバーに録音できる枚数は、CDによって異なりますので、目安としてお考えください。

① 録音の途中でCDの再生をやめたらどうなるの？

曲の途中で再生が終了した場合、その曲はミュージックサーバーから消去されます。次回曲の頭から再生され録音し直します。

② 同じCDを何回も再生したらどうなるの？

同じ曲は録音されません。ソースプレートの **REC** が青色になっているときは、録音していない曲があることを表しています。

③ CDを順不同に（ランダムに）再生したらどうなるの？

ミュージックサーバーは録音中の曲がCDの何曲目であるかという情報も取得します。（再生するときにはCDと同じ順番で再生します。）CDはお好みの順番でお聞きください。

② CDのタイトルや曲名が画面に表示されるのはなぜ？

ミュージックサーバーはCDのデータベースを内蔵しています。演奏中のCDのデータが見つかった場合にはCDのタイトルや曲名などを画面に表示します。

② ミュージックサーバーはCD専用なの？

本機はテレビやラジオ、MDなどの音声を録音することもできます。また、PCカード内のMP3ファイルを再生することもできます。

再生できるMP3ファイルについては、『オーディオブック』、「再生できるMP3ファイルについて」を参照してください。

ミュージックサーバーへの録音

工場出荷時の録音に関する初期設定は、CDの自動録音モードに設定されています。CDを本機に挿入して再生を始めると、自動的にミュージックサーバーに録音が始まります。

🔄 録音方法は3種類用意されており、設定を変更することができます。

→ 『オーディオブック』、「CD録音モードを設定する」

オート	CDを再生しながら、自動的にミュージックサーバーに録音します。
マニュアル	CDを再生しながら、手動でミュージックサーバーに録音します。
シングル	CDの1曲目だけを、自動的にミュージックサーバーに録音します。

- ① 同じ曲は2回録音されません。
- 録音はCDを再生する順番にかかわらず、CDと同じ順番でミュージックサーバーに録音されます。
- 録音途中で再生やマニュアル操作で録音が中止された場合は、その曲は録音されません。

録音した曲のタイトルを取得する

内蔵のデータベースからタイトル情報を取得できたときは、ミュージックサーバーは自動的にその情報を取得しますが、情報が複数見つかった場合や情報が見つからなかった場合には [No Title] と表示します。

? 情報が見つからなかった場合は？

情報が見つからなかった場合は、『オーディオブック』、「タイトル情報を取得する」を参照に操作してください。まず内蔵データベースを探し、情報が複数ないか確認します。それでも見つからない場合はインターネットから探します。

i 2001年11月以降に発売されたCDの情報は内蔵のデータベースで見つからない可能性があります。

ミュージックサーバーの再生のしかた

i PCカード内のMP3ファイルを再生する場合は、あらかじめMP3ファイルが記録されているPCカードをPCカードスロットに入れておきます。「PCカードの入れかた、取り出しかた」(53P)を参照してください。

- PCカード内のMP3ファイルはミュージックサーバーのプレイリストの一番最後に表示されます。ID3 Tagから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、MP3のファイル名とフォルダ名が表示されます。

→ 聞きたい曲を選ぶこともできます。

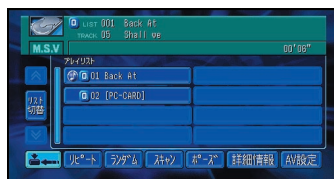
→『オーディオブック』、「ミュージックサーバーを利用する」の「基本的なミュージックサーバーの聞きかた」

1 **NAVI** を押して、ソース画面を表示する

2 **SRC** を押して、ソースを [ミュージックサーバー] に切り替える

登録されている全プレイリストの再生が始まり、画面上にはミュージックサーバーの状態が表示されます。

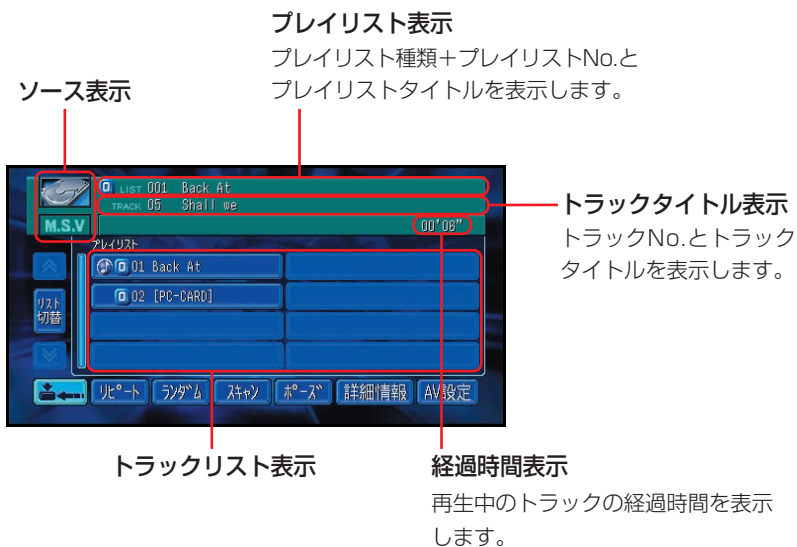
プレイリストや曲を選びたい場合は、**◀▶** を上下に倒して選んでください。



3 再生を止めたい場合は、**SRC** を押す

他のソースに切り替えるか、[OFF] と表示されるまで2秒以上押し続けてください。

■ミュージックサーバー状態表示画面の見かた



- i** プレイリストタイトルとトラックタイトルは全角16文字（半角32文字）まで、トラックリストは全角9文字（半角18文字）まで表示されます。

音声操作を覚えよう

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、ナビゲーションを操作したり携帯電話をハンズフリーで操作することができます。

詳しくは、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

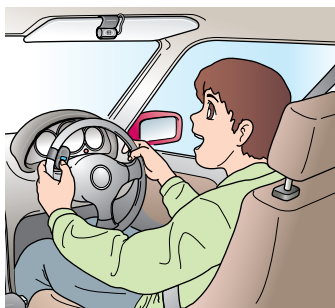
音声操作の基本

■音声操作上の注意点

音声操作を行うには、発話を正しく認識させる必要があります。

そのために、以下の点に注意してください。

- ・車の窓は閉めておく
- ・マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける
- ・はっきりと明瞭に発話する
- ・音声認識語を正しく発話する
- ・音声案内中は発話しない



i 行き先・場所メニュー／情報通信メニュー／編集設定メニューなど、ナビゲーションのメニューを表示しているときは、音声操作を受け付けません。

■発話するタイミング

発話するときは、“ピッ”と音が鳴って画面左下のキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢（首をかしげていない状態）のときは、**操作**または**場所**を押すと、首をかしげて発話できる状態になります。

この状態のとき発話してください。



この状態のときは、発話しても認識されません。



発声の特徴を学習させる

音声認識の認識率を向上させるために、使用者の発声の特徴を学習させることができます。

画面の指示に従って単語を発音してください。これにより、発声の特徴を学習して認識率を向上させます。音声操作をご利用になる前に、発声の特徴を学習させることをおすすめします。

- ① 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 通常の音声操作中でも継続的に音声認識の学習を行っていますので、一時的に使用者が異なる場合には【機能設定】の【音声認識学習使用】をOFFにしてください。
→『ナビゲーションブック』、『機能設定』

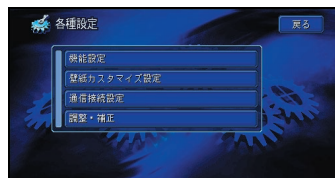
1 **メニュー**を押して**編集・設定**にタッチする



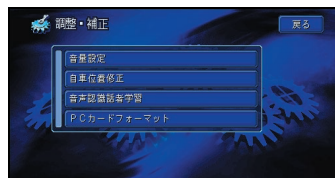
2 **各種設定**にタッチする



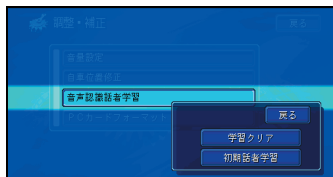
3 **調整・補正**にタッチする



4 **音声認識話者学習**にタッチする

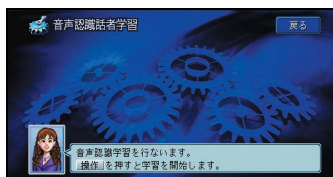


5 初期話者学習 にタッチする



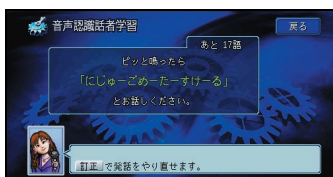
6 音声認識コントローラーの**操作**を押す

画面上に女性キャラクターが表示され、音声案内が流れます。



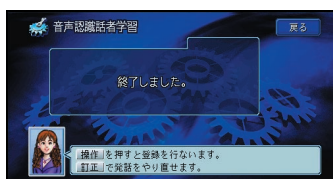
7 画面表示されている単語を発話する

“ピッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、発話を受け付け可能な状態になります。発話すると画面表示の単語が表示されますので引き続き発話してください。画面には残りの単語数が表示されます。



8 画面表示に**終了しました。**と表示されたら**操作**を押す

今までに発話した単語から、発声の特徴を学習します。学習終了後は、地図画面に戻ります。



音声でナビゲーションを操作する

場所の検索、基本操作、ルート操作、VICS操作、オーディオの操作などを行うことができます。

1 操作または場所を押す

音声で操作できる状態になります。

操作	ナビゲーション・オーディオ操作を行う場合
場所	場所を探す場合

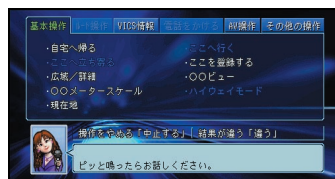
音声認識語の表示については、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。



2 音声認識語を発話する

発話内容を認識すると、応答メッセージを表示します。

本機が認識できる音声認識語については、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。



(場所を探す例)

3 必要に応じて他の音声認識語を発話する

指定した操作が実行されます。

訂正を押すと、前の画面に戻ります。



ハンズフリーで電話する

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、携帯電話をハンズフリーで操作できます。

■電話をかける

1 **操作**を押す

音声で操作できる状態になります。

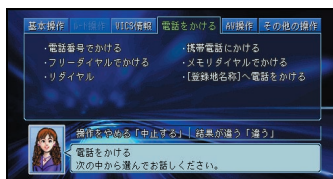
- ➡ 音声認識語の表示については、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。



2 「電話をかける」と発話する

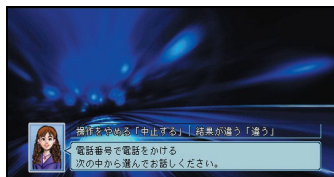
発話内容を認識すると、応答メッセージを表示します。

- ➡ 本機が認識できる音声認識語については、『ナビゲーションブック』、「電話を操作する」を参照してください。



3 必要に応じて他の音声認識語を発話する

- i パーキングブレーキをかけているときは、画面に表示される音声認識語から選んで発話します。



4 **操作**または**場所**を押して電話をかける

5 通話が終了したら**操作**を押す

電話が切れます。



■電話を受ける

1 電話がかかってきたら**操作**を押す

電話につながり、通話状態になります。
音声操作用マイクを通して、ハンズフリー通話が行えます。



2 通話が終了したら**操作**を押す

電話が切れます。



■電話を応答保留する

1 電話がかかってきたら**訂正**を押す

電話は、応答保留状態になります。



2 応答保留を解除したい場合は、応答保留中に

操作を押す

電話につながります。

応答保留中に**訂正**を押すと、電話が切れます。



i 応答保留中、通話相手には「間もなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけなおしてください。」といったメッセージが流れます。(メッセージは携帯電話事業者によって異なります。)

PCカードの入れかた、取り出しかた

本機では、PCMCIAタイプIIのATAフラッシュカードを利用できます。

PCカードを利用すると、MP3ファイルを再生させたり、デジタルカメラで撮影した写真を地図上に表示させたり、登録地などのデータを保存しておくことができます。

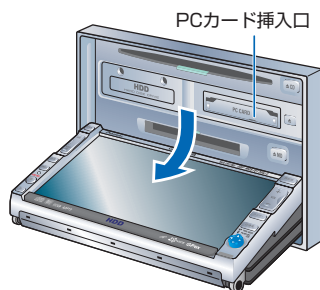
i PCカードは、本機のディスプレイが開いているときは、電源のON/OFF（エンジンのON/OFF）に関係なく出し入れができます。

■PCカードの入れかた

1 OPENを押す

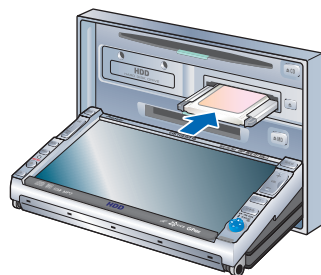
ディスプレイ部が開き、PCカード挿入口があらわれます。

i ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対に開け閉めしないでください。



2 PCカード挿入口にPCカードを差し込む

PCカードのタイトル面を上にして、カードに記載されている矢印の向きにPCカードをしっかり奥まで差し込みます。PCカード取り出しボタンが前に出るまでしっかり差し込んでください。PCカードが奥まで差し込まれると、画面にPCカードのイラストが表示されます。



3 PCカードが奥まで差し込まれたことを確認してから、もう一度OPENを押す

ディスプレイ部が閉じ、「PCカードが使えるようになりました。」とメッセージが表示されます。


■PCカードの取り出しかた

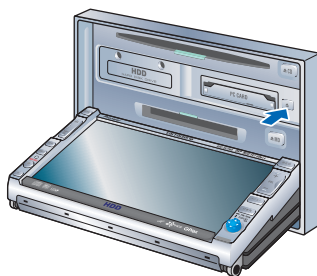
1 OPENを押す

ディスプレイ部が開きます。

2 PCカード取り出しボタンを押す


PCカードが出てきます。

 出てきたPCカードはすぐに取り出してケースに保管してください。



3 PCカードを挿入口から取り出したあと、もう一度 OPENを押す

ディスプレイ部が閉じます。


-  PCMCIAタイプII (5V) 以外のPCカードは使用できません。規格の異なるPCカードを差し込むと、PCカード挿入口が破損するなどの故障の原因となります。
- PCカード内にたくさんのファイルを置くと起動が遅くなることがあります。
- 本機に使用するPCカードは、FATもしくはFAT32でフォーマットしてある必要があります。NTFSなどでフォーマットしてあるPCカードはご使用になれません。
- PCカードスロットに装着可能なメモリ媒体には保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 長時間PCカードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますので注意してお取扱いください。
- 専用のドライバソフトウェアが必要なPCカードは使用できません。
- ハードディスク内蔵のPCカードは使用しないでください。故障の原因となります。


リセットのしかた

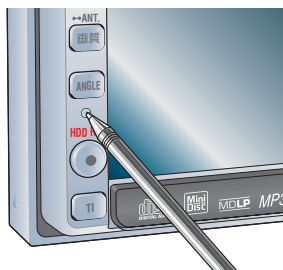
次のようなときは、本機のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

1 ボールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す

 本機は、リセットボタンを押すとディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。リセットボタンを押すときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなど、他の方が挟む可能性があるときには絶対にリセットボタンを押さないでください。

 本機のリセットボタンを押しても、登録地点やルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されませんのでご安心ください。



再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

- i
 - CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
 - CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
 - Super Audio CDは、ハイブリッドディスクのCD層のみ再生することができます。
- !
 - ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは再生できません。
 - PC (パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
 - 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/CD-RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
 - 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/CD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
 - 本機は、CD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。
 - CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
 - CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
 - 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
 - CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されません。(音楽データ (CD-DA) 再生時)
 - DDCD (Double Density CD) 形式で録音されたCD-R/CD-RWディスクは再生できません。


MP3ファイルについて

■MP3とは？

MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できるMP3ファイルについて

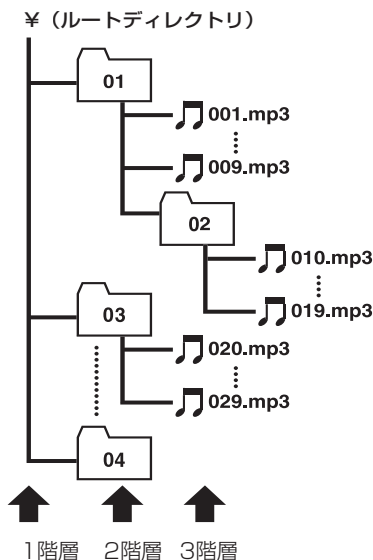
- 本機はMP3ファイルのCD-ROM (CD-ROMモードはモード1のみ対応)、またはCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されたディスクが再生可能です。

-  MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。

- マルチセッション対応で記録したディスクは、最初のセッションのみ再生することができます。
- ID3-TagのVer1.1のalbum (Disc Titleとして表示)、track (TrackTitleとして表示)、artist (Track Artistとして表示)、発売年の表示およびVer2.xに対応しています。
- 44.1 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1 kHzです。)
- 対応するビットレートは8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128 kbpsです。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive)、mp3 PROフォーマットには対応していません。

■フォルダとMP3ファイルについて

- MP3ファイルを取録したCD-ROM/R/RWのイメージは下図のようになります。



- **i** Mixed Mode CDのデータトラックは、再生経過時間を表示しますが、音声は出力されません。音楽トラックのみ再生します。
- MP3ファイルを含まないフォルダは、認識しません。
- 8階層までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル数の上限は400、フォルダ数の上限は256です。
- PCカード内のMP3はフォルダ表示できません。

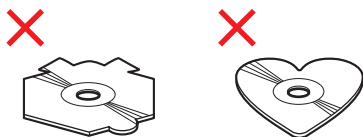
CDの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



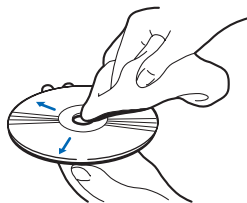
- ディスクは、記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。
- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。



- i** 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。

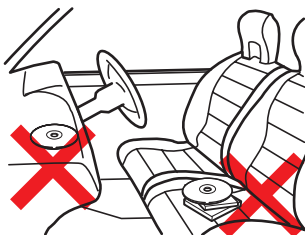


- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り替えが遅くなってしまうことがあります。)
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。
- 高温になると、保護機能が働き、一部の動作が停止します。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

- 下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



- 長時間録音されているMDも再生できません。
- 音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

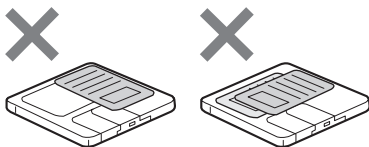
取り扱い上のご注意

- MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

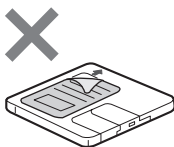


ラベルについて

- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

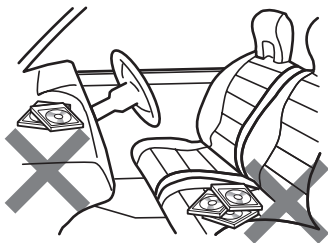


- ラベルがめくれれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取りだせなくなります。このようなMDは新しいラベルに張り替えてからお使いください。



保管上のご注意

- MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



お手入れについて

- MDカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



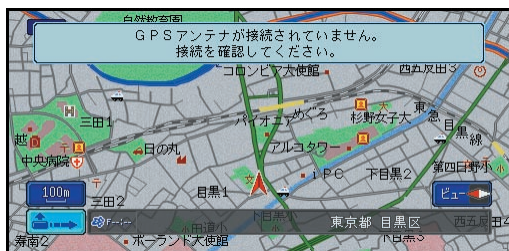
- MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

寒いときの結露について

- 寒いとき、ヒータを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

エラーメッセージ

初期学習が正しくできなかった場合や本機に何らかの異常が発生した場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、以下の内容を参照して対処してください。

- **【車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。決定にタッチしてください。】**
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線（車速信号入力）を接続してください。正しく接続すると、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。
- **【振動を検知しました。本体の取付け状態を変更後、決定にタッチしてください。】**
『取付説明書』を参照して、本機を取り付ける位置を変えてください。
- **【本体の向きが間違っています。取付けを確認後、決定にタッチしてください。】**
『取付説明書』を参照して、本機を取り付ける方向を変えてください。
- **【車速パルス信号が異常です。接続を確認後、決定にタッチしてください。】**
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線（車速信号入力）の接続が間違っていないか確認してください。
- **【ジャイロセンサーが異常です。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。】**
内蔵のジャイロセンサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

● **[ハードウェアに異常が発生し、測位不能になりました。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]**

ハードウェアの故障、劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

● **[GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]**

[GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]

GPSアンテナの接続を確認してください。

正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

● **[車速信号線が外れました。接続を確認してください。]**

ピンクリード線（車速信号入力）の接続を確認してください。

● **[ディスプレイ位置を確認しています。この表示が消えない場合は取り付けを確認してください。]**

ディスプレイの開閉のさまたげになっているものがあります。本体の取り付け状態を確認してください。

お客様登録とアフターサービス

お客様登録について

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送もしくはインターネット登録による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ではございますが必ずご登録手続きを行なってくださいますようお願いいたします。

登録方法

①「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送によるご登録

同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード③」を弊社までご返送ください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。

② インターネットによるご登録

弊社でご登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要事項をご記入のうえ送信してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に入力してください。

なお、インターネット登録のお客様は修理の際に、郵送される保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」を一緒にご提示して頂きますので大切に保管願います。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi>

保証書発行について

■保証書のお届けについて

ご登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。

ご登録いただけない場合は、お客様の登録ができないため保証書の発行ができません。お手続きいただいてから保証書が届くまで約3週間ほどかかります。

■保証書お届けまでに故障が発生した場合

保証書発行兼お客様登録カードお客様控②は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

■インターネット登録の場合

インターネット登録のお客様は登録後、郵送された保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」をあわせてご提示いただきますので大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品の、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)


ご質問・ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

 0070-800-8181-11 (フリーフォン)
TEL 03-5496-8016 (一般電話)

なお、登録内容の変更はホームページからも行なえますのであわせてご利用くださいますようお願いいたします。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi>

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
5. 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
 - ・ 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・ お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - ・ 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
 - ・ 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - ・ 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - ・ 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - ・ 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - ・ 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - ・ 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

* 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

* 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

無料修理規定

お客様の個人情報について

当社はお客さま個人の情報につきまして、安全対策を実施し厳重な管理を行っております。

仕様

◆ナビゲーション本体 (GPS部)

方式：L1、C/AコードGPS
SPSスタンダード・
ポジショニング・サー
ビス
受信方式：8チャンネルマルチ
チャンネル受信方式
受信周波数：1,575.42 MHz
感度：-130 dbm
測位更新時間：約1回/1秒

◆共通部

最大消費電流：15 A
使用電圧：DC 14.4 V (10.8~
15.1 V使用可能)
アース方式：マイナスアース方式

◆アンプ・オーディオ部

最大出力：50 W×4
定格出力：22 W×4
負荷インピーダンス：4 Ω (4~8 Ω使用可能)
ラウドネスコンター：10 dB (100 Hz)、
6 dB (10 kHz)
イコライザー (13バンド) 周波数：
50Hz、80Hz、125Hz、
200 Hz、315Hz、
500Hz、800 Hz、
1.25kHz、2 kHz、
3.15 kHz、5 kHz、
8 kHz、12.5 kHz
調整幅：+12~-12 dB
(2 dBステップ)

◆CDプレーヤーメカ部

形式：コンパクトディスク
オーディオシステム
使用ディスク：コンパクトディスク、
CD-R、CD-R/W
信号フォーマット：
サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化ビット数：16ビット直線
周波数特性：20~20,000 Hz
(±1 dB)
S/N：96 dB (1 kHz)
(IHF-A network)
ダイナミックレンジ：94 dB (1 kHz)
チャンネル数：2 (ステレオ)

◆MD部

形式：ミニディスクデジタル
オーディオシステム
使用ディスク：ミニディスク
信号フォーマット：
サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化ビット数：16ビット直線
周波数特性：20~20 kHz (±2dB)
S/N：88 dB以上 (1 kHz)
IHF-Aネットワーク
スピーカOUT)
ダイナミックレンジ：80 dB以上 (1 kHz)
IHF-Aネットワーク
スピーカOUT)
チャンネル数：2 (ステレオ)

◆FMチューナー部

受信周波数帯域：76.1~89.9 MHz
実用感度：9 dBf
(0.8 μV/75 Ω)
モノラルS/N 30 dB
50dB感度：14 dBf
S/N：70 dB以上
高調波歪率：0.3%
周波数特性：30~15,000 Hz
(±3 dB)
ステレオセパレーション：40 dB以上 (65 dBf
入力、1 kHz)

◆AMチューナー部

受信周波数帯域：522~1629 kHz
(9 kHz)
実用感度：18 μV
(S/N 20 dB)
実行選択度：50 dB以上
(±9 kHz)

◆TVチューナー部

受信チャンネル：VHF1~12 ch /
UHF13~62 ch
実用感度：6 dBμ (75 Ω、
モノラル音声)
映像S/N：40 dB以上 (59 dBμ
入力、白100%)
映像雑音制限感度：40 dBμ
クロストーク：主→副 35 dB以上、
副→主 40 dB以上

S/N : 60 dB (IHF-Aネットワーク)
ステレオセパレーション : 30 dB (1 kHz)
外部映像入力レベル : 1 Vp-p/75 Ω
外部音声最大入力レベル : 1.5 V/22k Ω
アンテナ入力 : 4chダイバシティ

◆TVモニター

画面サイズ : 6.5インチワイド
(有効表示面積 :
79.1×146.7 mm)
画素数 : 336.960画素
(234×1440)
方式 : TFTアクティブマトリクス方式、透過型
エッジライト : 冷陰極L字管
使用温度範囲 : -10~+50℃
保存温度範囲 : -20~+80℃
スライド角度調整ステップ数 :
7段階
タッチパネル : 抵抗感圧式アナログタイプ
(フィルム+ガラス)

◆GPSアンテナ

アンテナ : マイクロストリップ
平面アンテナ/右円偏波
アンテナケーブル長 : 5 m

◆TVアンテナ

出力端子 : φ3.5ミニプラグ×4
アンテナケーブル長 : 7.0 m

◆外形寸法

取付寸法 :

178 (W) × 100 (H) × 165 (D) mm

ノーズ寸法 :

170 (W) × 93 (H) × 13 (D) mm

GPSアンテナ :

34 (W) × 36 (H) × 13 (D) mm

音声認識コントローラー :

34 (W) × 56 (H) × 16 (D) mm

TVアンテナ :

30 (W) × 28 (H) × 192 (D) mm
(収納時、アンテナベース含まず)

◆質量

本体 :

3.2 kg

GPSアンテナ :

105 g (コード含む)

TVアンテナ :

260 g (コード含む、片側)

音声認識コントローラー :

20 g (電池含む)

◆付属品

コード類 : 1式※1
音声認識コントローラー : 1
リチウム電池 (CR2032) : 1
マイク : 1
スタートブック : 1
ナビゲーションブック : 1
オーディオブック : 1
クイックリファレンス : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書発行兼お客様登録カード : 1
ご相談窓口・修理窓口 : 1
のご案内
VICISサービス契約約款 : 1

※1 『取付説明書』の「接続・取り付け部品を確認する」に接続・取り付け部品の一覧表が記載されています。

- ① 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- テレビの受信状態がよくないチャンネル(電波の弱いチャンネル)は、GPSの影響で、画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

☎0070-800-8181-11

● カタログのご請求窓口

☎0070-800-8181-33

- <ご注意>
- PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
 - 修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2002

< KAMFF/02D00000 > < CRA3310-B >